

～ 道路・橋梁がどんどん綺麗に～

たわらもと ええ道プロジェクト進行中！

道路インフラは私たちの生活に欠かせないものです。しかし、老朽化が進んでおり整備が急務になっています。

今月はインフラ整備に関する町の取り組みについて紹介します。

☎ まちづくり建設課建設係

☎ 34-2077

橋の安全を守る！ 予防保全への移行

町では令和7年度から、橋の維持管理を「壊れてから直す」事後保全から「壊れる前に直す」予防保全へと転換しました。

これを実現するため、橋や舗装、標識などの点検から長寿命化計画、補修設計までを民間事業者に一括して委託する「包括的民間委託」を導入しています。専門業者の技術を活用することで、効率的で質の高い維持管理を行っています。

町が管理する363橋は、国のルールに基づき5年に1度点検しています。通常、点検から工事完了までには3年程度かかりますが、包括的民間委託により点検と設計を同じ年度内に終えられるため、翌年度には工事へ着手できます。橋の傷みが大きくなる前に修繕す

事後保全

- 壊れてから直す
- 修繕規模が大きく必要経費も多い
- 橋の架け替えが多数発生

予防保全

- 壊れる前に直す
- 補修回数は多いが必要経費は少ない
- 橋を延命することで架け替えを最小限に

ることで寿命を延ばし、将来の架け替え費用を抑えながら、安心して利用できる橋を守ります。

たわらもとええ道プロジェクト

令和7年度から令和11年度までの5年間で集中的に修繕していく取り組みを進めており、これまでの約1・7倍の予算を確保しています。

橋の定期点検にあわせて、ドライブレコーダーとAIを活用した舗装点検を町道全路線で実施しています。また、生活道路についても、地域からの要望や職員のパトロールとともに舗装工事を行い、安全で快適な道路環境の整備を進めています。

町道にかかる樹木を剪定

特定外来生物クビアカツヤカミキリによる被害が全国で広がっており、町道沿いの桜でも被害が確認されています。倒木などの事故を未然に防ぐため、被害を受けた桜の伐採や剪定を行っています。これまでは台風や強風時に倒木が発生することもありましたが、これらの取り組みの結果、令和8年6月の台風6号では大きな被害はありませんでした。

樹木の伐採などは、道路を利用する皆さんの安全確保のために行っています。ご理解ご協力をお願いします。

令和7年度の道路・橋梁保全の取組

早期修繕完了！ 予防へ移行！

橋梁予防保全

町が管理する363橋の内、278橋の橋梁点検を行った結果、新たに4橋の早期修繕が必要な橋梁があり修繕を行った。それにより、早期修繕箇所はなくなり予防保全へと移行。これだけの橋梁がある中で予防保全へ移行している例は全国でも数少ない。

予算額1.7倍！集中的に修繕！

道路修繕

重要維持管理道路（町内の道路の中でも特に重点的に管理していくべき道／71.3km）のうち、17.3kmの区間で、ひび割れやわだち掘れといった傷みが進行しており修繕が必要な状態。令和7年度はそのうち、2.08kmの舗装工事を実施。

伐採だけでなく予防も実施！

樹木伐採

予防措置として、クビアカツヤカミキリの被害が確認された桜を伐採。唐古・鍵遺跡史跡公園などの樹木はワクチンをうつなど防除も併せて実施。

修繕などの結果



佐味11号線1号橋



三笠宮森線



寺川沿いの桜（伐採前）



寺川沿いの桜（伐採後）

今後も安全な道路環境の保全を
推進します

道路の異常をLINEで通報できます



道路の異常を発見した際の通報手段として、国の道路緊急ダイヤル（#9910）のLINEアプリを田原本町でも運用しています。

LINEから、路面の写真や位置情報を簡単に送ることができますので、ぜひご活用ください。



詳しい使い方などは
こちらから